



ソーラーバッテリー方式・受信機能搭載
X/K2バンド高感度レーダー探知機

PCR-911

取扱説明書



PCR-911をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

まず最初に充電します。

初めてご使用になるときは、付属のカー電源コードを使い、4時間以上充電してからご使用ください。

目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 主な特長	3
4. 各部の名称とはたらき	4
5. 電源について	5
6. 取付方法	7
7. 使用方法	7
8. 故障とお考えになる前に	13
9. 主な仕様	13

1. 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書の表示には、安全に正しく使用して、お客さまや他の人への危害と財産への損害を防ぐために、いろいろな絵表示をしています。本製品をご使用になる前にこれらの内容をよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書、別紙に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外で使用になったことにより発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いかねます。

■ 絵表示の例

- △記号は気をつける必要があることを表しています。(警告、注意)
- ⊘記号はしてはいけないことを表しています。(禁止) 図の中や近くの表示は、禁止の内容(左図は分解禁止)、一般の禁止は⊘です。
- 記号はしなければならないことを表しています。(強制) (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜く) 一般の表示は●です。

警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)

- **かならず助手席側に取り付けてください。**
本機は、運転の妨げにならないように、かならず助手席側のフロントガラスに取り付けてください。
また、エアバックの近くに取付けしないでください。
- **本機を濡らさないでください。**
水につけたり、水をかけないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
- **車を運転中に本機を操作しないでください。**
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
- **ケースは絶対にあけないでください。**
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
- **スピードの出しすぎにご注意ください。**
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心掛けてください。
- **発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。)そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身の修理は絶対に避けてください。
-

⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)



■ 衝撃や強い振動を加えないでください。

衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。



■ 動作範囲内の温度条件下でご使用ください。

本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。



■ 高温時の取扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。



■ ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。

シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。



機能上の制約



■ 日本国内で使用してください。

本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので、使用できません。

■ マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。

本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤー式などのスピード取締機には対応していません。

■ 周囲の環境により、受信しにくい場合があります。

前方に走行中の車（とくに大型車）がいる場合や、カーブ、坂道などでは、電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは、とくに注意してください。

■ 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。

取締レーダー波以外にも、同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドアおよび車両通過計測器、港湾、航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが、故障ではありません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買上げの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により、無料で修理いたします。

※印欄に記入のない場合には、有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名	
ソーラーバッテリー方式レーダー探知機 <i>PCR-911</i>	
●保証期間	
※ お買上げ年月日 年 月 日から 1年間	
※お客様	ご住所 〒
	TEL() -
お名前	
※販売店	店名・住所 〒
	TEL() -

株式会社 マルハマ

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

■商品についてのお問い合わせは…マルハマサービスTEL. 045-251-2687

2. 製品の構成

お買い上げいただいた PCR-911 は次の品目から構成されています。

- 本機……………1台
- 取付ステー（充電池内臓）……………1個
- 吸盤……………2個
- カー電源コード……………1本
- コードクリップ……………1セット
- 取扱説明書兼保証書（本紙）……………1枚

3. 主な特長

●太陽電池搭載

本機は太陽電池からニッケル水素電池に充電しますので、電源コード無しで使用できます。

●X/Kの2バンド対応

Xバンドだけでなく、Kバンドにも対応。すべてのレーダー式スピード取締機に対応します。

●緊急車両のAVMシステム電波が受信可能

緊急車両に搭載されている自車位置情報装置の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両へ進路を譲り、安全な走行ができます。（アラームでお知らせ）ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

●警察デジタル無線が受信可能

160MHz帯の警察デジタル無線が受信できます。（アラームでお知らせ）

●速度取り締まり現場の連絡無線が受信可能

取り締まり現場で測定係と停止係が交わす無線を受信してアラームでお知らせ

●ステルス/新Hシステム対応

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナと、新開発D.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。

※ステルス識別モードはステルス型スピード取り締まりに完全対応というわけではありません。先頭を走行する場合は、くれぐれもご注意ください。

●2モード受信感度切替（レーダー受信感度）

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や、自動車専用道路など高速での走行時には、遠方からのレーダー波もキャッチするスーパーモードにと、走行状況により、レーダー受信感度の切り替えができます。

●オートアラームカット（AAC）システム搭載

内蔵の振動センサーにより、停車中および低速走行時の不要な警告音をカットします。

●オートパワーオフ

約3分間振動が無い状態が続くと、次に振動を検知するまで、自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。

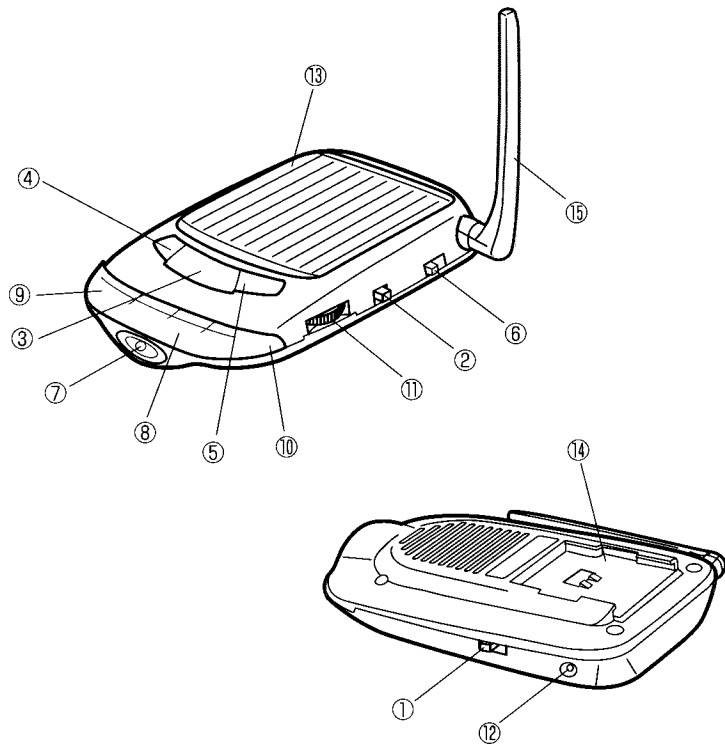
●オートミュート機能

一定時間レーダー波を受信し続けると、警告音の音量が小さくなります。

●バッテリーローアラーム

電池が消耗すると、ブザー音でお知らせします。

4. 各部の名称とはたらき



①電源スイッチ（VHF ON - OFF - ON）

本体の電源ON/OFF及び警察デジタル無線の受信ON/OFFを設定します。

②感度切替スイッチ（SENS）

レーダー波の受信感度の設定を切り替えます。（ノーマルモード・スーパーモード）

③ミュートボタン（MUTE/TEST）

警告音が鳴っているとき……………警告音が止まります。

警告音が鳴っていないとき……………警告音が鳴ります。

……………AAC設定モードをON/OFFします。

④ブザー、メロディ、切替ボタン（BZ/MELO）

警告音をブザー音、メロディ音に切り替えます。

ボタンを押すごとに、ブザー音→メロディ1→メロディ2の順に切り替わります。

⑤レーザー切替ボタン（AVM/350.1）

AVMシステム及び350.1MHzの受信ON/OFFの切り替えをおこないます。

⑥振動センサー感度切替スイッチ（SENSOR）

振動センサーの振動検出感度を4段階に切り替えます。

- ⑦アラームランプ
レーダー波を受信すると点滅します。
- ⑧アラームレベルメーター
レーダー波の種類や受信強度により、ランプの点灯数が増えます。
レーダー波が強くなる（発振源に近づく）につれて、ランプの点灯数が増えます。
- ⑨電源ランプ (POWER)
本体に電源を入れると、緑色で点滅します。
AACがOFFのとき、オレンジで点滅し、AACが動作中であれば、赤色で点滅します。
- ⑩レシーバーランプ (RECEIVER)
取締連絡無線（350.1MHz）受信がONのとき、赤色点滅します。
AVMシステム受信がONのとき緑色点滅します。
- ⑪音量調節つまみ (VOL)
警告音の音量を調節します。
- ⑫電源ジャック (DC IN)
充電時などに、付属のカー電源コードを接続します。
- ⑬ソーラーパネル ⑭取付ステー装着部 ⑮アンテナ

5.電源について

本機は、ソーラーパネルにより、太陽光から取付ステー内蔵の充電池に充電して使用する製品です。

1. ご使用になる前に

はじめてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、電源スイッチを **[OFF]** にして、付属のカー電源コードで4時間以上充電してからご使用ください。

また、本機を使用しながら（電源 **[ON]** の状態）充電することができます。
この場合、充電に多少時間がかかります。

2. 太陽電池について

- 電源が入っていないなくても充電されます。
- 晴天時は、約13時間で満充電になります。（電源はOFFの状態）
- 満充電後は、まったく充電されない状態で約40時間連続動作します。（受信待受時）
※受信機のON/OFFにより、連続動作時間は変化します。
- 太陽電池で十分な充電ができない場合は、カー電源コードをご使用ください。

ご注意

- 充電される場合は、必ず取付ステーをセットした状態でおこなってください。
- 夏季や冬季の駐車中では、車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。
そのため電池の充電時間が変化する場合があります。
- 雨天・曇天時や夜間などでは、十分に充電できません。
- ソーラーパネル全面に太陽光が当たらないと、十分な充電ができません。

3. バッテリーローアラーム

電池が消耗したときに、約30秒ごとにブザー音でお知らせします。
その場合は、カー電源コードを使用して充電してください。

4. オートパワーオフ機能について

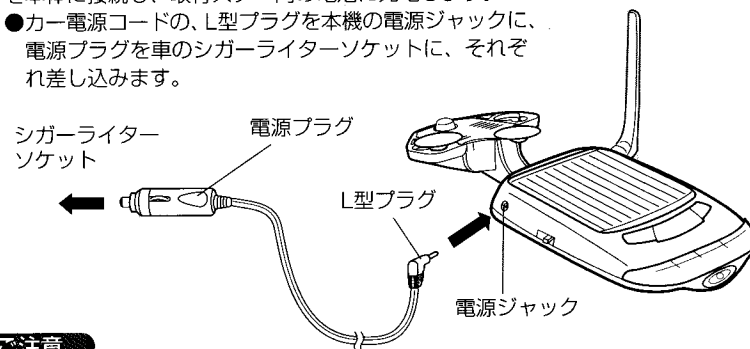
停車中や駐車中など、振動の少ない状態が約3分以上続くと、自動的に動作を停止します。

※次に乗車、エンジン始動など車の振動が大きくなると、動作を再開します。

5. カー電源コードで充電・使用するには

付属のカー電源コードにより、外部電源（車のバッテリー）を本体に接続し、取付ステー内の電池に充電します。

- カー電源コードの、L型プラグを本機の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットに、それぞれ差し込みます。



ご注意

- 充電される場合は、必ず取付ステーをセットした状態でおこなってください。
- カー電源コードを使用する場合、車のエンジンが止まっている時は、充電されません。
- シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因となりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは、かならず付属のものをご使用ください。

6. 電池の寿命について

取付ステー内蔵の充電池は、使用状況にもよりますが、約3年が寿命です。
十分に充電しても、充電池のみでは長時間動作しなくなった場合は、充電池が寿命になっています。
その場合は、付属のカー電源コードをご使用になることで、通常通り動作させることができます。

※充電池を交換する場合は、本体ごとお買い上げの販売店にお持ちになり、交換を依頼してください。

⚠ 警告

■高温時の取扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる場合には十分ご注意ください。

●保証規定

- 1.保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 2.保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
- 3.次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
(ニ)保証書のご提示がない場合
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 4.本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書（本書に刷り込まれています）は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のある時は修理依頼してください。

■保証期間中は：保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：お買い求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと…

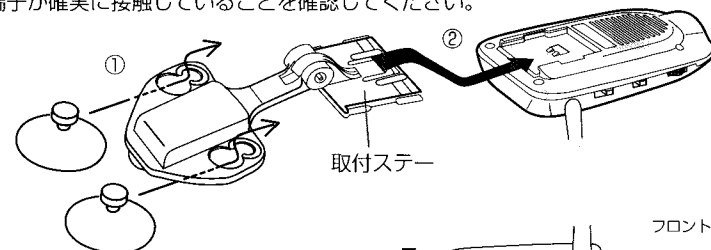
修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。また出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご了承ください。

●商品についてのお問い合わせは…

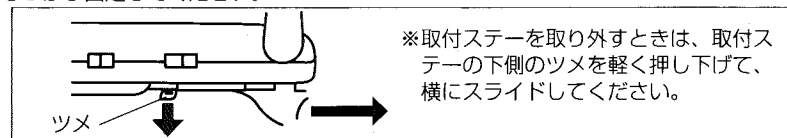
マルハマサービス TEL.045(251)2687

6. 取付方法

- ①付属の取付ステーに、付属の吸盤を取り付けます。
- ②本機に、付属の取付ステーを取り付けます。このとき下図の本体電池端子とステー電池端子が確実に接触していることを確認してください。



- ③吸盤により本機をフロントガラスに吸着させて、固定します。
※吸盤に水などをつけると吸着させやすくなります。
- ④本体の角度を、地面と水平になるように調節し、
⊕ドライバーで取付ステーの固定ねじをしめ、
しっかり固定してください。



ご注意

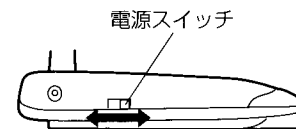
- レーダー波受信部の前方に、金属やゴムなどの障害物がこない場所に取り付けてください。また本体がフロントガラスに触れないようにして下さい。
- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- 取り付けの際に本機が落下しないようにして下さい。
- ソーラーパネルに太陽光が十分に当たる場所に取り付けてください。
- 本体ならびに取付ステーの充電端子部には素手などでさわらないでください。

7. 使用方法

はじめてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードを使用して内蔵電池に充電してください。

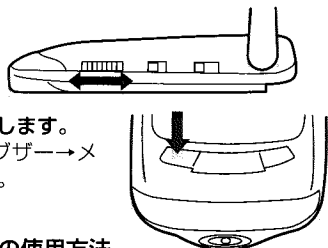
1. 操作方法

- ① 電源を入れます。
・電源スイッチをONまたはVHF ONのいずれかに入れます。
・ブザー音が鳴り、電源ランプが点滅し始めます。



- ② レーダー波の受信感度を設定します。
 ・感度切替スイッチにより、受信感度を切り替えます。
 ノーマルモード (NORMAL) : 市街地走行時
 スーパーモード (SUPER) : 高速道路・自動車専用道路走行時

- ③ 音量を調節します。
 ミュートボタンを押し、警告音が鳴っているときに、音量調節つまみを回して、適度な音量に調節してください。



- ④ 警告音のブザー/メロディー/音声の設定をします。
 ブザー/メロディ切替ボタンを押すと、ブザー→メロディ1→メロディ2の順に切替わります。

2. オートアラームカット(AAC)システムの使用方法

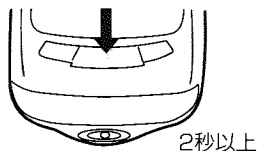
① AACのはたらき

本機に内蔵されている振動センサーにより振動を検出することで、停車中および低速走行時は不要な警告音をカットします。

※約3分間振動のない状態が続くと、自動的に動作停止状態になります。

② AACの使用方法

ミュートボタンを2秒以上押し続けることで、AACのON/OFFを切り替えます。
 AACがOFFのときは、電源ランプが橙色で点滅します。



③ 動作確認

① AACをONにします。

電源ランプが橙色で点滅している場合は、ミュートボタンを2秒以上押し続けて、AACをONにしてください。電源ランプが赤になります。

② 車を走行させます。

車を走行させて、電源ランプの色が、赤から緑に変わることを確認してください。

※②～⑤で正常に動作しない場合は、振動センサーの感度を切り替えてください。

③ 走行速度を落とします。

アイドリング状態で電源ランプの色が緑から赤に変わることを確認してください。

(→④振動センサーの感度設定について)

④ 停車します。

停車してから約3分後に、すべてのランプが消灯することを確認してください。

※②で車を走行させても電源ランプの色が緑に変わらないときは、振動センサーの感度を高く設定してください。

⑤ 車を走行させます。

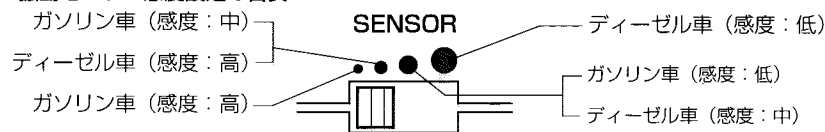
車を走行させてから数秒後に、電源ランプが点滅することを確認してください。

※③で、アイドリング状態で電源ランプの色が赤に変わらないときは、振動センサーの感度を低く設定してください。

④ 振動センサーの感度設定について

ご使用になる車種や、取り付ける場所に依りて切り替えてください。
 振動センサーの感度設定により、AAC、オートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。

振動センサー感度設定の目安



ご注意

- AAC設定時、車によっては、アイドリング中でも、警告動作が止まらない場合があります。そのときは、本機の取付場所を変更してみてください。
- 車によっては、AACが正常にはたらかないことがあります。そのような車種では、AACをOFFにしてください。
- AACをOFFにしても、オートパワーオフ機能は動作します。
- 振動センサーの感度を低く設定すると、オートパワーオフ機能により、動作停止状態のままになり、車を走行させても動作を再開しない場合があります。
- 振動や騒音の激しい場所などでは、オートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。そのような状況で長時間駐車する場合は、電源を切ってください。

3. オートミュート機能

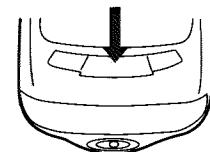
レーダー波受信時に、アラームレベルメーター全点灯の状態が約10秒間続くと、レーダー波を約30秒間連続で受信すると、自動的に警告音の音量が小さくなり、電池の消耗を抑えます。

4. ミュート機能

警告動作中に、警告音が不要になった場合(レーダー波の発振源がわかっているときなど)、受信中のレーダー波がなくなるまで、警告音をカットします。

操作方法

- ① 警告動作中に、ミュートボタンを押します。
 ↓
 ミュート機能がはたらいて、警告音を止めます。
- ② ミュート機能を途中で解除するには、再度ミュートボタンを押します。



5. レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音およびアラームレベルメーターにより、レーダー波の受信をお知らせします。
 レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音およびアラームレベルメーターの点灯数が変化します。
 また、*1ステルス波を受信した場合は、通常とは異なる警告を行います。

		通常のレーダー波	ステルス波
警告音	ブザー	電波が強くなるにつれて鳴る間隔が短くなります。音色 ビツッ ビツッ	ステルス専用ブザー音がなります。音色 ピポ ピポ
	メロディー	設定されているメロディー音が鳴ります。	
アラームランプ		警告音に合わせて点滅します。	
アラームレベルメーター		電波が強くなるにつれて段階的にランプの数が多く点滅します。 ※ステルス波を受信したときは、全ランプの点滅から始まります。	

ご注意

- 本機は、ステルス型取り締まりに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する場合は、くれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス専用アラームが鳴る場合があります。

取締レーダー波を受信しにくい場合

- 電波の発射方法や周囲の環境などにより、取り締まりレーダー波を受信しにくい場合があります。

前方に走行中の車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断されるため、レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂などでは、とくにご注意ください。

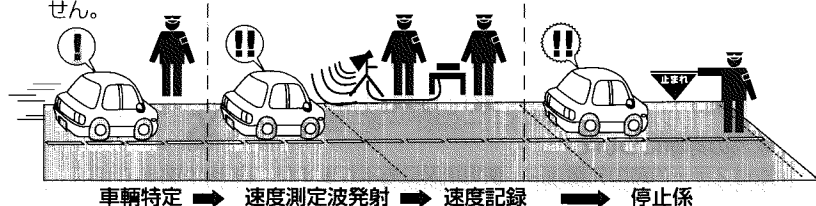
また、対象となる車が近づくまで電波を発射しない、狙い撃ち的な取り締まりができるステルス型の速度取締機があります。

ご注意

- 電波式の自動ドア、信号機付近に設置されている車両通過計測器などは取締りレーダー波と同じ種類の電波が使用されています。そのため、これらの機器周辺で、レーダー探知機が反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに、ご注意ください。

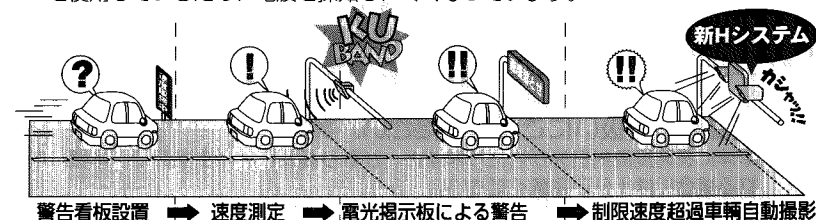
※1：ステルス型取締について

他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知されないように、普段は電波を出さず、取り締まりのときに、短時間強い電波を発射して速度を測定をする、狙い撃ち的な取締方法です。従来機では、先頭ではなく2番手以降で走行していても、一瞬しか警告音が鳴りません。



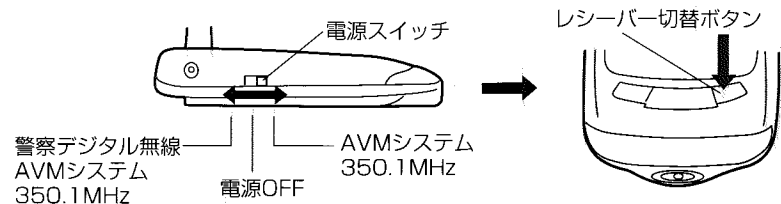
※2：新Hシステムについて

電波を使用する自動速度取締機の一つですが、他の取締機とは出力方式の違う電波を使用しているため、電波を探知しにくくなっています。



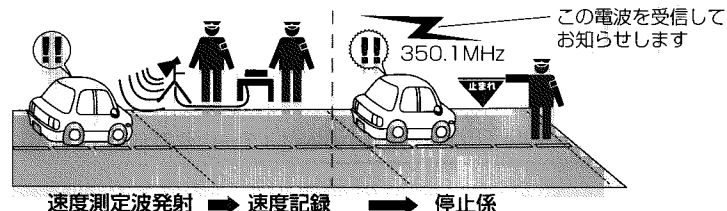
受信機の使用方法

本機は、速度取締り連絡波（350.1MHz）、AVMシステム（自車位置測定情報システム）電波および警察デジタル無線を受信して、アラーム音とランプの点滅で警告します。受信機能を使用するときは、本体の電源スイッチにより受信帯を設定し、次にレーザー切替ボタンにより受信切り替えを行って下さい。



① 取締り連絡波の受信

速度取締り現場で使用される連絡無線（350.1MHz）を受信して、アラーム音でお知らせします。

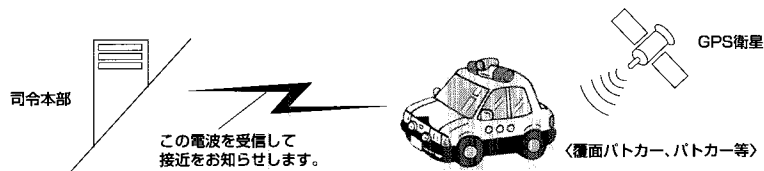


操作方法

- ① 電源スイッチをONにします。
ONまたはVHF ONのどちらでも350.1MHzを受信します。
 - ② レーザー切替ボタンを押して350.1MHzを受信します。
レーザー切替ボタン（AVM/350.1）を押すごとに350.1MHz受信がON→OFF→ONとなります。
350.1MHz受信ONのとき、レーザーランプが赤色に点滅します。
 - ③ 受信待ちの状態になります。
取締り連絡波（350.1MHz）を受信すると、ブザー音で警告し、レーザーランプの赤色点滅が速くなります。
- ② AVMシステム電波の受信
緊急車両などに搭載されているAVMシステム（自車位置情報装置）の電波を受信することで、緊急車両などの接近を事前にお知らせします。

■AVMシステムとは

GPSによる位置データを無線で定期的（間欠）に司令部に送信するシステム



操作方法

- 1 電源スイッチをONにします。
ONまたはVHF ONのどちらでもAVM受信します。
- 2 レシーバー切替ボタンを押してAVM受信に切り替えます。
AVM受信がONのとき、レシーバーランプが緑色に点滅します。
レシーバー切替ボタン（AVM/350.1）を押すごとに受信帯が切り替わります。
AVM受信 OFF OFF ON ON
350.1MHz受信 OFF ON OFF ON
レシーバーランプ 消灯 赤 緑 橙
- 3 受信待ちの状態になります。
AVMシステムの電波を受信すると、アラーム音（メリーさんの羊）で警告し、レシーバーランプの緑色点滅が速くなります。

ご注意

AVMシステムは、全ての緊急車両に搭載されているわけでもなく、また、常時車両から電波を出しているわけではありません。
このような場合は、緊急車両の接近があっても、お知らせすることはできません。

- 3 警察デジタル無線の受信
160MHz帯の警察デジタル無線を受信して、アラーム音でお知らせします。
※警察デジタル無線を受信するときは、付属のカー電源コードにより外部から電源を接続して下さい。
外部電源が接続されていないと、警察デジタル無線は受信できません。

操作方法

- 1 外部電源を接続します。
本体の電源ジャックに付属のカー電源コードを接続します。
- 2 電源スイッチをVHF ONに入れます。
- 3 受信待ちの状態になります。
警察デジタル無線を受信すると、アラーム音（グリーンスリーブ）で警告し、レシーバーランプが点滅（橙）します。

8.故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗している →カー電源コードで充電してください ●オートパワーオフ機能がはたらいている →振動センサーの感度を高く設定してください（→P8） ●電源スイッチが ON になっていない ●本体と取付ステーの電池端子の接触がよくない →電池端子の汚れなどを拭き取ってください。
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光が十分ではない →カー電源コードで充電できるか確認してください ●カー電源コード内部のヒューズが切れている →新しいヒューズと交換してください ●取付ステーを付けていない →取付ステーを付けた状態で充電してください ●電池の寿命 →カー電源コードで使用してください（→P6）
受信しない （音が出ない）	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていない ●音量が小さい ●受信感度の設定がノーマルモードで電波の弱い場所にいる →スーパーモードに設定してください ●AACがはたらいている →振動センサーの感度を高く設定してください（→P8） ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了後などでレーダー式取締機に電源が入っていない
取り締まり以外で警告が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響 ●バッテリーローアラームが鳴っている（→P6） →カー電源コードで4時間以上充電してからご使用ください
取締現場で連絡無線が聴こえない	<ul style="list-style-type: none"> ●取締現場で常に無線による連絡がおこなわれているわけではありません

9. 主な仕様

- 電源電圧……………DC 3.6V 充電電池（取付ステー内蔵）
DC 12V 外部電源（充電器兼用）
- 受信周波数……………Xバンド/Kバンド
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイン
- 受信感度……………Xバンド -110dBm/スーパーモード
Kバンド -105dBm/スーパーモード
- 動作温度範囲……………-10℃～+60℃
- 外形寸法……………70(W)×100(D)×17(H) mm
- 重量……………本 体 80g